







お花の栽培シリーズ「シャクナゲ」

2007年11月	霜月(しもつき)・雪待月(ゆきまちづき)・霜降月(しもふりづき)・冬半(とうはん)・仲冬(ちゅうとう)・神楽月(かぐらづき)	●霜対策と越冬対策を行う時期
<p>●朝夕は肌寒いけれど、日中はおだやかな晴天が続きます。さまざまな木々の効用が目玉をたのませてくれます。</p> <p>●冬に向けて防寒対策をしっかりと行い、植物の保護を忘れずに!</p>		
庭木の作業	<p>・落葉樹の植えかえが下旬から可能になります。葉が すっかり落ちて、休眠にはいったら はじめましょう。</p> <p>・落葉樹の手入れは、落葉後にとりかかります。常緑樹には 手をつけてはいけません。</p>	
草花の作業	<p>・10月下旬から、ユリの球根の植え付けが適期となります。</p> <p>・秋まきした苗や、植えかえしたばかりのものはビニールなどで覆い、風や霜を防ぐ。</p>	

今月の誕生花	サフラン・シクラメン・シンビジウム	
今月の花	<p>ケイトウ 花言葉 / おしゃれ、博愛、奇妙、気取り屋、色あせぬ恋</p>	 <p>ケイトウは 漢字では 鶏頭と書きます。花が オンドリの赤いトサカによく似ているところからその名がつけられました。『おしゃれ』『気どり屋』という花言葉も、そんなところからついたのでしょう。中国でも同じで、中国ではケイトウのことを「鶏冠」と呼んでいます。また イギリス、フランス、ドイツなどでも、日本と同じように「オンドリのトサカ」と呼ばれていますが、これは スウェーデンの植物学者 リンネが、この花に「トサカ種ケイトウ」という学名を与えたため、それがそのまま 一般名になったといわれています。</p> <p>日本には、かなり古い時代に 中国から朝鮮半島を経て伝わったとされていて、「秋さらば うつしもせむと 君が蒔きし 韓藍の花を 誰かつみけむ」と万葉集に出てくる韓藍は、ケイトウのことだといわれています。</p> <p>別名のセロシアは、ギリシャ語の ケロスが語源で、「燃えた」とか「焦げた」という意味。やはりこれも、真っ赤な 燃えるような花色から きているようです。</p> <p>原産地は熱帯アジア。ヒユ科ケイトウ属の1年草。草丈は20～100cm。開花時期は5～11月。最盛期は5～6、7月末。葉の形状は、線状または広卵形、互生。花色は、赤・ピンク、黄・オレンジ、白。英名コックスコム(Cockscomb)。別名 カラアイ、サキワケゲイトウ、チャボゲイトウ、トサカゲイトウ、セロシア・クリスタータ、唐藍(からあい)、鶏頭(漢字表記)</p> <p>水揚げが悪いので、多すぎる葉を整理したり、全部の葉を取り除いてから使うとよいでしょう。葉をつけて使う場合は、水切りして切り口を塩でもんでから、深水に養います。</p>

# お花の栽培シリーズ

## 今月の花 シャクナゲ

<b>日当たり</b>  半日陰	<b>水やり</b>  多湿に弱い	<b>気温</b>  10～20℃	<b>草丈</b>  2～4m	<b>花色</b> 
---	--	--	--	---

日本にも多く分布する ツツジ科の花ですが、ニホンシャクナゲは 高度な園芸技術が必要で、初心者には少し無理。初心者には、ロードデンドロンの名がある セウヨウシャクナゲが栽培しやすいでしょう。これは、日本や中国のシャクナゲが 西洋で園芸用に改良されたもので、品種も多く作りやすくなっています。

強い光や高温多湿を嫌うので、夏は特に西日が当たらないように気をつけます。高温多湿が苦手ですが 乾燥も嫌います。空中湿度を保つように 真夏と真冬には時々葉水を替えます。冬は屋外でも大丈夫ですが、耐寒性は強くないので、寒風を避けます。

植えつけるときには、水はけのよい 有機質が豊富な乾燥した場所が 適しています。

午前中、半日くらい日の当たる、風通しのよい場所が理想的です。鉢植えにする場合は、根詰まりをしないように、深い鉢を使いましょう。



### ●摘蕾のやり方

花を一度にたくさん咲かせると、木が弱ってしまい花が毎年咲かなくなり、枝も伸びなくなってしまいます。そこで 花芽を摘み取って花の数を調節する必要があり、その作業を『摘蕾』といいます。



花芽をねじり取る!!



保護剤を塗る

### ●植え替えのやり方

植え替えの目安は2年に1度。古土を落とすにはヘラなどを使うとよいでしょう。



鉢から抜く





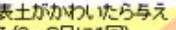


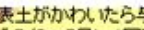











古土を1/3ほどかき落とし  
古い根や腐った根を切り取る



深い鉢  
根を広げる  
ゴロ土  
鹿沼土 ピートモス  
7 : 3

## ●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
状況	生育 花期 											
置き場	植え場所 屋外の日当たりのよい場所  / 屋外の半日陰 / 露地栽培は日よけをする  / 屋外の日当たりのよい場所 											
水やり	表土がかわいたら与える(2~3日に1回)  表土がかわいたら与える(1日に1回)  多湿に弱く乾燥にも弱くので、空中湿度を保つ  表土がかわいたら与える(2~3日に1回) 											
肥料	● 堆肥や腐葉土を根元に埋込む 油かす1+骨粉1を混ぜた物をひと握り根元に施す  ● 油かす1+骨粉1混ぜた物を指先大に丸めて2~3個置き肥する  ● 堆肥や腐葉土を根元に埋込む 油かす1+骨粉1を混ぜた物をひと握り根元に施す 											
病気害虫	褐斑病や枯葉病予防にトップジンM水和剤1000倍液をときどき散布 カイガラムシの発生予防にデナボン乳剤300倍液を1週間おきに2~3回散布する 											
作業	植えつけ  花がら摘み  芽摘み  植え替え  (鉢植え) 挿苗  植えつけ 